

北日本漁業経済学会 ニュースレター

北日本漁業経済学会大会（第50回札幌大会）の案内

1. はじめに

すでにご案内の通り、コロナ禍による自粛ムードが続く中、昨年行う予定だった第49回岩手大会は延期とし、本年5月15日に春季大会として行いました。現在、本年の第50回札幌大会の準備を進めております。日程、シンポジウムのコンテンツなどが決まりましたので、それとともに一般報告の募集についてもお知らせ致します。

2. シンポジウム案内

1) 概要

方法：大会のプログラム全てをオンライン（Zoomを利用）で開催します。

参加：申し込みが必要です。学会HPから参加フォームにアクセスして申し込んでください。参加フォームに記載頂いたメールアドレスにURLを送付致します。

日程：2021年10月8日（金）～10月9日（土）

大会1日目：10月8日（金）

13:00～14:00 理事会

14:00～17:00 一般報告会（報告を募集します）

18:00～19:00 総会

大会2日目：10月9日（土）

13:00～17:00 シンポジウム

2) シンポジウムテーマ

新水産政策下におけるTAC制度の課題

～北海道漁業を事例に～

<主旨>

2018年に「水産政策の改革」が打ち出されて以後、数量管理を基軸とした新資源管理体制のための調整が続けられている。新資源管理体制ではTAC魚種の漁獲量の合計が国内の総漁獲量の80%を占めるまでTAC魚種を増やし、資源量がMSY水準に到達するまでTACを抑制するという漁獲シナリオを設定することになっている。さらに資源評価を行う科学機関（水研センター）の独立性を強めるなど従来の資源管理体制とはあらゆる面で異なっている。

「水産政策の改革」で描かれた資源管理体制は漁業管理の軸となっているだけに重要政策である。その内容は、漁業者に漁獲報告を義務づけ、科学機関が資源評価を行い、目指す資源量（MSY水準）になるまで行政が漁獲量の管理を強めるという形になり、至ってわかりやすいものとなった。その中でTACが果たす役割が大きいと言うことは言うまでもない。

しかし、政策体系が大きく転換した上、従来の水産政策が立案の段階から業界との間で内容を詰めてから策定されてきたのに対して「水産政策の改革」の立案過程ではこのようなプロセスがほぼ無かったことから、業界にはすぐに了解を得られにくい状況となっている。実際、現時点まで新たなTAC魚種の設定やTAC設定などの合意形成が円滑に進んだとは言えなかった。

そこで本シンポジウムでは、北海道におけるTAC制度をめぐる資源管理の調整問題を対象にして、新資源管理政策の評価と新TAC制度にある課題を明らかにし、今後の学術研究の素材としたい。

報告者：

1. 水産庁
2. 北海道漁業協同組合連合会
3. 北海道機船漁業協同組合連合会
4. 北海道庁
5. 北海道総合研究機構（北海道水産試験場）

討論会：

司会：後藤友明（岩手大学）

3) 一般報告の募集

一般報告の募集を致します。報告を希望される方は学会HPからアクセスできる一般報告エントリー・フォームに名前、所属、報告タイトルを記入してください。期限は8月末とします。講演要旨の提出は9月末までとします。要旨はMS-Wordで作成してください。紙幅はA4、2ページまでとします。

上記の点について分からない場合は事務局にご連絡ください。

3. 学会事務居からの案内（メール案内の開始とお願い）

北日本漁業経済学会では会員へのメール案内を始めました。大会の開催や大会参加フォームの案内などではメール案内で大変有効で、かつ事務連絡も行いやすくなりました。

会員の方でメール案内をご希望される方は事務局までご一報ください。できれば全会員のメールアドレスを把握したいです。メール案内の配信が不要だとしても、学会事務局までメールをお伝え頂ければ助かります。配信不要会員としてアドレス帳にメールアドレスを登録させていただきます。

【会計担当より】

年度が替わり、会員各位の住所変更・所属変更などが届いております。所属や住所の変更がございましたら速やかに事務局にご連絡ください。

北日本漁業経済学会は会員みなさまの会費で活動を維持しております。幸いみなさまのご協力をいただき、コロナ禍下においても、何とか学会活動を継続することができており、財政状況も比較的安定しております。今後とも会費の納入をよろしくお願いいたします。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；濱田武士）

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40

北海学園大学 経済学部（濱田研究室）

TEL 011-841-1161(代表)

E-mail njfe2020@gmail.com

学会公式HP (URL) : <http://njfes.sakura.ne.jp/>